

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名	がん検診事業		担当部署	健康福祉部 健康増進課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	がん対策基本法、健康増進法	
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	昭和 ▼ 57 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと			終期
(小項目)		保健・医療			
施策	7	健康・医療対策の推進			
基本事業	2	健康意識の高揚と保健予防活動の充実			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	がん検診の受診率向上を図り、がんの早期発見・早期治療につなげる。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	①かかりつけ医を通じて行う受診勧奨としてリーフレットを作成・配布。②子宮がん・乳がん無料クーポン券の配布。③商工会議所・量販店・銀行・郵便局などに受診勧奨用のリーフレットを設置。④個別受診勧奨通知 ⑤特定健診とがん検診の同日実施 ⑥中学生を対象にピロリ菌検査を実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>各がん検診受診率の平均</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	各がん検診受診率の平均	10	10	10	10	10	%
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
各がん検診受診率の平均	10	10	10	10	10	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①受診勧奨用のリーフレットはかかりつけ医やかかりつけ薬剤師から配布されるよう依頼するとともに、市民がよく行く店舗や銀行、郵便局等にも利用者への配布を依頼するなど周知啓発を行った。②子宮がん・乳がん検診は20歳・40歳の新規対象者に無料クーポン券を配布し、未受診者には再度、受診勧奨(個人通知)を行った。またNHK番組「ガッテン」とタイアップした受診勧奨や継続受診のない者への受診勧奨を行った。③特定健診とがん検診の同日実施や、介護予防事業開催にあわせてがん検診を実施するなど受診率の向上に努めた。④中学校の協力のもと、中学2年生を対象とした尿中ピロリ菌検査を実施し、保護者にも胃がん検診の受診勧奨を行った。また、二次検査受診率向上のため医師会と協議し、検査方法や周知内容の見直しを行った。						
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	がん検診受診者数(計)	3,418	4,000	3,500	3,500	3,500	人
	2	乳がん検診受診者数	744	944	800	800	800	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	各がん検診受診率の平均		6.9	7.4	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)			74.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	未達成		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	489	0	0	254	20,667	21,410
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	489	0	0	254	20,667	21,410
		決算額	523	0	0	302	19,546	20,371
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)	総人件費		総事業費		
		1.7	0.1	12,658	33,029			

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	18,141	20,371	22,264	22,264	22,264
	うち一般財源	17,267	19,546	21,274	21,274	21,274
	人件費	12,547	12,658	12,658	12,658	12,658
	総事業費	30,688	33,029	34,922	34,922	34,922

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		がん検診により、早期がん等の発見があり有効と考える。
	効率性	B:概ね効率的だった		保険課や健保協会と連携し、特定健診とがん検診を同日実施したり、特定健診とがん検診の周知を一緒に行うなど概ね効率的だったと考える。
②成果に対する評価	指標名	各がん検診受診率の平均		すべての検診において受診人数の増加、受診率の向上がみられたものの、目標値には届かなかった。
	目標	10	%	
	実績	7	%	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		受診者数及び受診率は上がったが、全体的にみればほぼ横ばいの状態である。それぞれの検診において早期がんの発見やがんの疑いがあり、概ね有効であったと考える。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	NHK番組とのタイアップや継続受診のない者への受診勧奨、健保協会との連携、介護予防事業に合わせたがん検診の実施等の取り組みにより、受診者の増加に繋がったと考える。一度も検診を受けたことのない方への働きかけと、一度検診を受けた方が継続受診に繋がるよう、保険課等他機関とも連携をとりながら、さらなる周知啓発が必要と考える。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業に基づき、子宮がん・乳がん検診クーポン券の配布、受診勧奨の個別通知、受診勧奨用のリーフレットの作成・配布を実施。保険課と健保協会と協力し、特定健診とがん検診の同日実施は継続していく。がん検診を継続受診していない人を対象に個人通知や市開催事業に合わせた集団検診についても継続して実施。広報誌でのコラム掲載やテレビ広報で広く受診の呼びかけを行う。			
	R2年度	令和元年度の取り組みを継続して実施。			